

※平成29年度当初予算と比較し、**新**は新規事業を、**拡**は拡充した事業を、**継**は継続事業を表します。

1 ひと・暮らしいきいきふくしま

- 拡** 児童福祉施設等整備事業 12億4,450万円
(保育施設の新設・増設で保育定員拡大を図る)
- 新** 幼稚園預かり保育支援事業 1,290万円
(私立幼稚園が実施する預かり保育の経費の一部を補助)
- 新** 保育支援員雇用支援事業 4,340万円
(私立保育所などでの保育士の業務をサポートする支援員の経費の一部を補助)
- 新** 潜在保育士就労支援事業 1,510万円
(公立保育所で潜在保育士の実地研修を実施)
- 新** 潜在保育士確保対策事業 5,640万円
(私立保育所などでの潜在保育士の雇用を支援)
- 継** 女性が輝くまちづくり推進事業 110万円
(働く女性を対象にキャリアアップを支援する講座などを開催)
- 拡** 地域包括支援センター機能強化事業 9,490万円
(新たに8つのセンターに認知症地域支援推進員を配置)
- 継** 路線バス等高齢者利用促進事業 1億9,440万円
(75歳以上を対象に、路線バス・福島交通飯坂線運賃を無料化)
- 拡** 地域介護予防活動支援事業 440万円
(高齢者の社会参加などを推進する「地域ふれあい元気づくり楽校」の開設など)
- 拡** 小・中学校耐震補強事業 10億7,940万円
(小・中学校の校舎・屋内運動場の耐震化を着実に推進)
- 新** 学校トイレ洋式化改修事業 2億3,250万円
(洋式化率80%を目標に、4カ年計画で改修を実施)
- 新** いじめ・不登校防止等対策推進事業 350万円
(別室登校の生徒を支援する教員を中学校3校にモデル的に配置)
- 新** 福島大学農学系教育研究組織設置支援事業 7億2,540万円
(人材養成の成果を産業振興につなげるため、福島大学農学系(仮称)の施設整備を支援)
- 拡** 夜間急病診療所運営事業 2億30万円
(上町地内へ移転し、内科・外科・小児科の夜間診療を実施)
- 継** 新斎場整備事業 21億7,690万円
(新斎場の建築本體工事、設備工事など)
- 新** 高機能消防指令システム更新整備事業 5億4,030万円
(市民の安全・安心を確保するため、消防指令システムを更新整備)
- 継** 除去土壌搬出等推進事業 319億400万円
(学校や住宅、農地などから仮置場などへの除去土壌の搬出を推進)
- 継** 道路・ため池等放射性物質対策事業 26億円
(道路等側溝堆積物の撤去、ため池の放射性物質対策など)

2 産業・まちに活力ふくしま

- 新** 食品加工産業創出事業 150万円
(食品加工の産業化を目指し、産学官、農工商連携による研究会を設置)
- 新** くだもの加工品支援事業 150万円
(本市産くだものを活用した加工品のPRを支援)

- 拡** 新工業団地整備事業 5億2,600万円
(福島大笹生IC周辺地区に整備する新工業団地の造成工事)
- 拡** 地域振興施設整備事業 5,020万円
(福島大笹生IC周辺地区に整備する「道の駅」の基本・実施設計など)
- 拡** 有害鳥獣農作物被害対策強化事業 4,400万円
(有害鳥獣対策専門員の配置や電気柵の設置など)
- 拡** 地域6次産業化推進事業 430万円
(6次化推進戦略に基づいた関連情報の集約や相談員の配置など)
- 新** 公共施設トイレ洋式化改修事業 1億4,000万円
(洋式化率80%を目標に、4カ年計画で改修を実施)
- 拡** インバウンド推進事業 1,730万円
(台湾・タイへ向けたプロモーション、観光案内所での多言語案内の実施など)
- 拡** 東京2020オリンピック・パラリンピック開催関連事業 3,200万円
(競技開催準備や事前キャンプ誘致、ホストタウン事業など)
- 拡** 福島体育館再整備事業 5億6,100万円
(秋に再オープン予定の体育館・武道場の建築本體工事など)
- 新** 十六沼公園サッカー場整備事業 4億6,900万円
(十六沼公園内に天然芝サッカー場を整備)

3 風格ある県都ふくしま

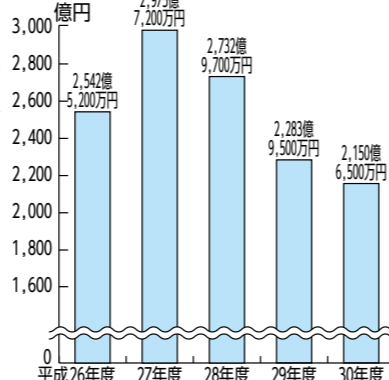
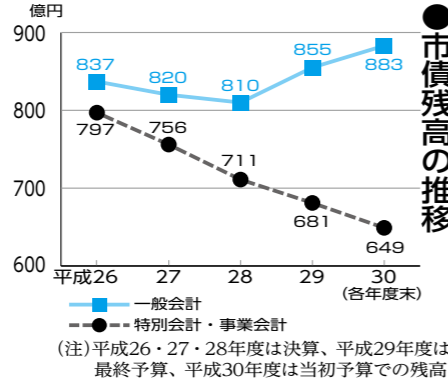
- 継** 福島圏域連携強化推進事業 200万円
(活力ある圏域の実現を目指し、近隣市町村との連携事業を推進)
- 新** 公共施設の戦略的再編整備検討事業 70万円
(老朽化した公共施設について、多角的な視点で再編整備を検討)
- 拡** 中心市街地活性化推進事業 110万円
(中心市街地の拠点施設の在り方などを検討)
- 継** 栄町地区都市再構築型優良建築物等整備事業 1億1,000万円
(県立医科大学新学部建設に向け、地下構造物撤去工事を実施)
- 継** 八島町地区暮らし・にぎわい再生事業 4億5,630万円
(高度医療体制充実のため、福島赤十字病院の新築移転を支援)
- 拡** 新最終処分場整備事業 2億9,300万円
(搬入道路の建設工事など)

4 中核市への移行による市民サービスの充実

- 新** 保健所の設置・運営 8,330万円
(保健衛生、健康危機管理の拠点として一体的なサービスを提供)
- 新** 小児慢性特定疾病対策等事業 5,950万円
(医療費助成や日常生活用具の給付、自立支援事業などを実施)
- 新** 特定不妊治療費助成事業 4,540万円
(特定不妊治療にかかる費用の一部を助成)
- 新** 母子父子寡婦福祉資金貸付事業 1,800万円
(修学資金など12種類の資金の貸付事業を実施)

土地 10,353,664㎡	車両 479台
山林・原野 17,122,910㎡	証券その他権利 277億1,300万円
建物 972,884㎡	基金 283億7,900万円

●市の所有財産の状況
(平成29年3月31日現在)



●当初予算総額の推移
(一般会計および特別会計など)

福島市

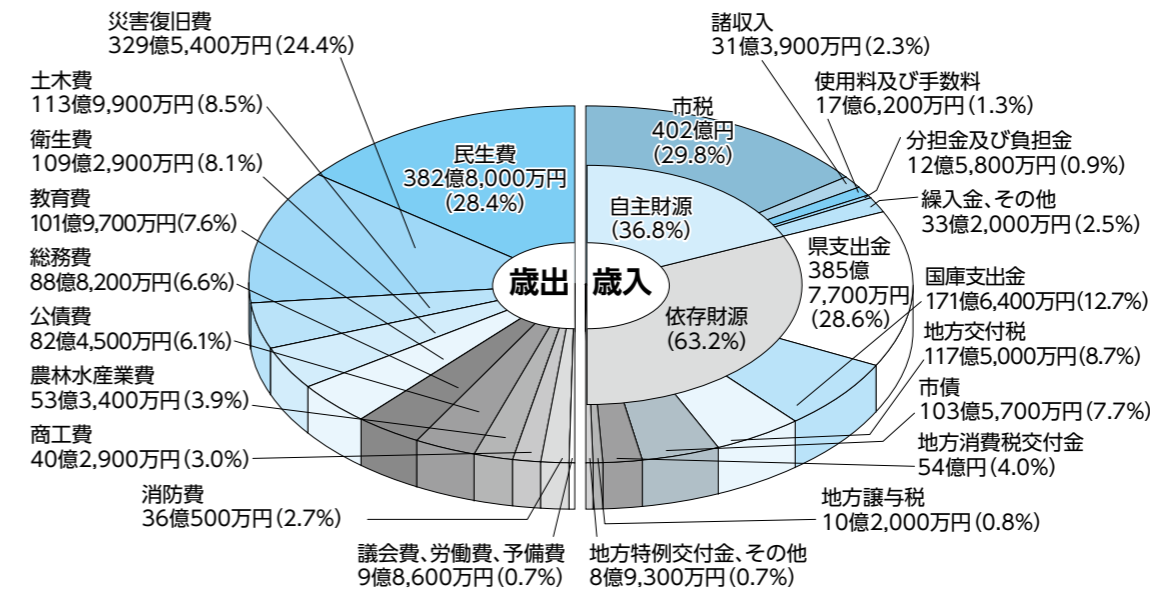
元気あふれる新ステージへ

平成30年度当初予算

平成30年度予算の総額は、2,150億6,500万円になりました。予算編成にあたっては、市民との良好な対話と協働の推進を基本に、将来に向けて夢が持てる新しい福島市の創生を確実に具現化するため「ひと・暮らしいきいきふくしま」産業・まちに活力ふくしま」風格ある県都ふくしま」の3つの政策目標を中心に確実かつ迅速に取り組みむほか、特に待機児童対策などに予算を重点配分しながら、健全な財政運営を基調に編成しました。

一般会計の予算額は、1,348億4,000万円、前年度に比べ70億4,000万円、5.0%の減になりましたが、除染関連事業費を除いた予算額は本市初の1,000億円を超える積極型予算になりました。各特別会計の予算額合計は558億7,700万円(前年度比9.1%減)、水道事業会計の予算額は113億8,000万円(前年度比0.5%増)、下水道事業会計の予算額は127億3,800万円(前年度比5.3%減)、農業集落排水事業会計の予算額は3億2,000万円(前年度比0.5%増)になりました(詳細は下表参照)。

一般会計 1,348億4,000万円



会計名	当初予算額	対前年度増減率%
一般会計	1,348億4,000万円	△5.0
国民健康保険事業	244億4,000万円	△21.9
飯坂町財産区	1億100万円	△23.0
公設地方卸売市場事業	2億2,100万円	△8.4
土地区画整理事業	2億8,800万円	△8.4
介護保険事業	258億2,100万円	2.9
庁舎整備基金運用	10億200万円	0.0
後期高齢者医療事業	34億5,800万円	2.8
青木財産区	200万円	22.0
工業団地整備事業	5億2,600万円	931.6
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	1,800万円	皆増
小計	558億7,700万円	△9.1
水道事業会計	113億8,000万円	0.5
下水道事業会計	127億3,800万円	△5.3
農業集落排水事業会計	3億200万円	0.5
計	2,150億6,500万円	△5.8

歳入 市民の皆さんから納めていただく税金。市民税や固定資産税、軽自動車税など。

歳出 民生費：高齢者や障がい者、児童のための福祉や生活保護のための経費。災害復旧費：災害によって生じた被害の復旧のための経費。土木費：道路や橋、住宅、公園などを整備する経費。衛生費：健康で衛生的な生活環境を保持するための経費。教育費：学校や文化スポーツなど教育全般の経費。総務費：人事、企画、財政など市の総合的な事業を進めるための経費。

一般会計とは? 福祉や教育、土木などの一般的な事業に使われ、市の事業の大部分を賄っている予算のことです。

特別会計とは? 特定の事業ごとに分けた方が効率のよいものを、一般会計から切り離して経理する予算のことです。

自主財源とは? 市税や使用料、手数料など市が自主的に収入できる財源のことです。

依存財源とは? 地方交付税や国・県支出金など、国や県により額が定められ、交付または割り当てられる財源のことです。